

## アフガニスタン便り (二)

カブールにて 池 本 泰 兒

二月九日に必要な道具はすつかり整ひました。夫れで二月十日に出發することになりました。明日は紀元節です。

公使館に挨拶式もありませうし、又晩餐も御馳走すると通知がありました。私の契約書には日本の祝日は休暇出来ることになつて居るのですが、之れまで十日間も次官から何時出發するかと催促されてゐる處ですし、やつと道具の整つた時に日延するとも云ひ難くかつたものですから十日に出發することにしました。日本に居たつて祭日に出張を命ぜられることだつてありませう。

處で其の出發の用意が大變です。寢臺寢具からテーブル

椅子、炊事道具一切、洗面器まで持つて行くのですから私の新所帯で必要な品物だけしか持つて居ませんから殆んど引越しと同じ様なものです。ポトイも連れて行きます。處で同行のアスマイヤルも同じ程の用意をしてゐますから、特に大型の乗合自動車を雇ひ上げて夫れで行くことになつたのです。公使からウイスキー一本頂いて夫れも持つて行きました。尙私は蓄音機を、アスマイヤルは樂器と犬二頭も連れて行きますから丸でお引越です。

一行は、私と私のボーイ、アスマイヤルと其の弟のアスラム、この人は目下大學の學生で英語が話せるので、私の

通譯をしゃうと休暇を利用して行つて呉れるのです。夫れに其のボーイ二人です。ボーイの一人は炊事係、一人は鐵砲を持つて警固をやる男です。通譯は他の技師は總て貰つて居ますが私だけが貰つてゐません。來た頃は直ぐにも此處の言葉を感じるつもりで居ましたし、又次官にもさう公言をしたのですが、もう六月もたつたのに殆んど覚えな

いと云つていゝ位です。夫れで通譯を呉れないかと申し出た處が、此處の言葉を覺えた方が便利だからさうしなさいといひました。夫れで私はどうも語學の才能がない様に思ひますのでと云ひましたら、次官は何で君が六難しい土木の知識をあんなに立派に覺える程の才能を持ちながら簡単なペルシヤ語が覺えられぬ筈があるものかと相手にして呉れませんから、自分でも又覺えやうと考へなほしめるのですが、どうも外國語は覺え難いものです。アスマイヤルは私との交渉に不便なものですから何時も弟を通譯にします。

こんな用意をしてゐたのでカプール出發は午後二時半になりました。ワルダークまでは乗合自動車でなら四時間

乃至五時間かゝるのです。道も雪溶けて随分痛んで泥濘になつてゐます。

アフガンの幹線國道と云ふものは總て幅員七米—一〇米の立派なものです。外人の造つたものは總てテルホード基礎がしてありますが、さうでないものは唯土道です。然し適當の砂利も持つてゐますし、雨期及雪溶期の他は、良く乾燥して立派な路面です。其の乾燥期が五月から十二月位までも續きますから土道でも結構です。唯砂塵は相當酷ひです。修繕も殆んど要らない程で、次第に砂塵になつて飛びますから道路は殆んど凹型になつてゐます。然し一年のうち殆んど十月も雨がないのですから夫れでも差し支へないです。こんな道でも自動車の速度三〇哩/時が適當です。一度五〇哩/時で走つたのですが之れでは自動車の天井に吊り降る様にしてゐなければなりません。だが一度雨が降るか雪溶けが流れると泥濘です。然し之れとしても一年に一月間位のもです。雨が降ればテルホード基礎のものだつて泥で表層が造つてありますから矢張り泥

澤です。こんな状態ですから道路の築造方法だつて又日本とは別な考へ方を要しませう。私は未だ道路工事は命ぜられてゐませんが道路工事なら命ぜられなくても何時も其の適當な工法を考へて居ります。然し鋪裝は一切なし、道幅を決めれば直ちに道路になる様な國では、私は道路の専門の技師です他の事は知りませんなんてもいつて居られない様です。

此の調査に出發前に大臣から北田公使に更に一名土木技師を日本から招きたいと話があつたさうです。公使から何か専門の人が欲しいのかと尋ねたら、池本は道路の技師ださうだが何でもやるぢやないか池本の様な男が欲しいと云はれたさうです。こんなことを聞くにつけ私は日本の各位の御期待に幾分でも沿ひ得たと思つて愉快です。北田公使は私の仕事が農業向の主として灌漑用堰堤だからでせう。農林省から農業土木の技師を呼ぼうかと相談がありました。私は、一般土木の人の方が無難でせうと答へて置いたことです。此の文章を各位が御覧になる頃にはもう誰が來

られるか決まつてゐませう。お出になる方は御家族も御一緒の方がいゝでせう。私は何せ最初に來たのでこゝの事情は全く判らないし、又使ふ方でも初めての國の人間で様子が判らないから色々と試みましたから、私は苦しかつたのですが、夫れでも一人だけは日本人ももう試験済みですから次の人は多少樂に仕事が出来ませう。

出發の晩はワルダークへ行かないで、其の地方の役場へ行つて宿りました。次の日は二月十一日です。紀元節です私はヒンズークシシの山脈に向つて大聲に唄いました。

雲に聳ゆる高千穂の

高峰降ろしに草も木も

なびき伏しけん大御代を

仰ぶぐ今日こそ樂しけれ

と、正午頃ワルダークのチャーク村に着き、民家を借りて入ることにしました。早速竈をつくつて食事の用意をし、室を整理などしました。其の晩餐に公使から貰つたウイスキーを呑みました。呑むにもアスマイアルに、今日は日本

の二五九六年目の建國紀念日なのでお祝ひに酒を呑みたいのだが、呑んでもいゝか。此の國の神様は酒を禁ぜられてゐるが、日本の神様はお神酒をお呑みになる。日本では先づ御神酒を神前に備へてから、吾々が頂くことになつてゐる。お祝ひにはお酒を呑むのが日本の習慣なんだがと辭つたことです。

此の國の人も異教徒はお酒を呑むものと知つてゐるのでせう。かまひませんと云ふ返事なので此の芽出度い二五九六年の建國を祝ひ、新興日本の益々發展せんことを祈つたことです。

残りのお酒は引き續き五日程晩酌しました一日廣野の測量をしての晩餐の時に僅か宛の得難いウイスキーを呑むことはほんとうに甘味しいと思ひます。

ワルダークには二十日程滞在しました。初めシーメンス會社の技師の立案に依る路線を測量して見ましたが、水路の延長三軒五程で落差が二〇米しか得られないので更に上流に三軒程延長して三五米餘の落差を得られる處迄測量し

ました。土地の人を測量人夫に遣ふのですが、之れ等は賃金をやらないのですから毎日變りました。木のない廣い土地なので欲張つて一つの直線距離を出来るだけ長くつたものですから測角の時などポールが見えない時、ポールを二本繼がせたりすることでも其の一度トランシットをのぞいて見えないと態々五〇〇米もの處へ行つて自分でやつて見せて再び機械の處へ來ると云ふ様なやり方で、又杭の位置を教へたり更に距離を測つたり、二つの測點間を數回往復してやつと終るといふ様なやり方ですから、實際疲れれます。又五日間程で靴の底がすつかりぼろぼろになつてしまつた程です。言葉はアスラムが英語を通じて通譯して呉れました。然し夫れだつて私には仲々思ふ様に云へないので通じないと同じで自分でやつて見せる様になります。此のアスラムは大學生で、仲々伶俐な人でレベルもトランシットの使用法も覺へ込んで随分と手助けして呉れました。此の助手を得てほんとに大助かりでした。測量を自分獨りで然も言葉が通じないでやる場合を想像して見て下さい。どの

位困難で疲れるものか殆んど不可能に近いものだと思ひませんか。

大學と云へば此の國はカプールにあるのと他に尙一つとか二つとかあるさうです。カプールの大學には現在四―五人學生が居るさうです。もと十人程居たのが何人か日本に留學することになつて出發しました。日本留學生は六人ですが、他の學校からも出た様です。二月初めに日本に着いたと云ふことを聞きましたから各位は既に新聞で御覽になつたかと思ひます。カプールを一月六日に出發しました。私も他の在留邦人達と日の丸の旗を持つて送りに行きました。商務大臣の獨息子も行きましたから大臣も來て居ました。池本君こちらへ來た給へと皆で一緒に寫眞を撮りました。大臣から池本君と云はれたのは此の時が初めてです。よく覺えたと思ふことです。夫れまでは次官を通じて命令する時でも「日本人」といつて居ました。今でも、大概の人はお互に活す時は「日本人」と云つてゐますし、私に呼びかける時には「技師」と云ひます。日本人を區別する時に

は良く知つてゐる人は尾崎、池本と云ひます。他の外國の技師にも呼びかけは同じく技師です。話しのなかに入れる時は名前を云つてゐる様です。

留學生には出發前に皇帝から勅語があり、且つ寫眞と懷中時計とが下賜せられた様でした。專攻科目は、經濟、鑛山、紡績、農業の様に聞きました。此の國の人が日本人を見る様に、各位も六人のアフガンの人を見ることが出来ます。若し各位が何處かでお會になる様な時がありましたら親切にしてあげて下さい。商務大臣の獨り息子が居ますので大臣は随分氣遣つて居られる様です。又其の人は佛蘭西へも留學してゐたのですが、とても頭のいゝ人とか公使から聞きました。三年位日本に居るでせう。私は日本へ行く此の國の人を随分羨しいと思つたことです。

滯在中雨と雪の降つた日が六日程ありましたので其の間に平面圖を書きました。夜は暗いカンテラですから圖面はかけませんし、又動けない程疲れて歸へるのですから夜はやりませんでした。二本の水路の中心線が喰ひ違ふ程合は

ないで閉口しました。夫れでも何とか合せました。中心線は出来ませんが、附近の地形又等高線を平面圖にするのは測點間を五〇〇米にもそれ以上にもとつて然かも、距離杭を打たないのですからオフセットを取るなんて大變です。其の出来上りを外國技師が見るのですからいゝ加減なものはお來ないので随分と注意してかゝらねばなりません。

言葉ですが、アフガン國には、元來アフガン語があります。プントといふ言葉です。此のプントも亦多少地方に依り相違もある様です。又地方的にベルシヤ語をつかつてゐる處もある様です。夫れで政府は之れをベルシヤ語に統一することに於て官用語は總てベルシヤ語です。

カプールは殆んどベルシヤ語になつてゐますが、地方へ行くと未だプントが使はれてゐます。普通教育が普及してゐないのですから之れをベルシヤ語に統一するのは仲々困難でせう。ウルダークも九割の人はプントで話してゐます。だから私が英語で人夫に命ずるとアスラムが之れをベルシヤ語にし、更にプントの判る人々が、之をプント

にして命ずるのです。夫れで其のベルシヤ語とプント語を話す人が居ない様な時には、アスラムは人夫に一々お前はベルシヤ語を話すかと聞いてから命じてゐるのです。同じ國でこんなことも面白いことだと思ひます。

私共一行のために役場から一人護衛兵を派遣して呉れました。之れが鐵砲を持つて何時もついて居て呉れます。然し食料はこちら持ちですから、私共は總てで七人と犬二匹の炊事になりますから相當に食料品も要ります。鶏を一日に一羽宛食べますが、之れが此の寒村では産卵用に飼つてゐるものだけです。それから次第に得難くなつて來ました。砂糖だの茶だのマッチだのを随分持つて來たのですが七人で食べられては直きになくなつて來ました。二里も先の村まで買いにやる様な仕末です。

買ふと云つても店がある譯ではありませんから何處かで買ひ溜めのある家から分けて貰ふのです。マッチの無くなつた時に分けて貰つたのは印度製のものでした。アフガン國ではマッチは政府で造つてゐて專賣の様です。私の買ふ品

物のうちでアフガン製のものの唯一のものです。其のレッテルには *Made in Afghanistan* と書いてあります。日本なら主として輸出品に *Made in Japan* と入れるのですが、

夫れを自国内のみで使ふマツチに入れるのですから如何に此の國が輸入品ばかりであるかが知れます。専賣品ですが之れも仲々手に入り難くて一時に二個以上一度に賣らないなんて時もありました。其の値段は十二箱入六十錢（日本貨にして二十錢位）で一箱五錢です。藥のツケ方が悪いのと軸木に臘のツケ方が足りないので、ちよつと風のある日などは十本の煙草に火をつけるのに一箱は要ります。一本の煙草を吸ふのに足元が軸木だらけになる程です。マツチは政府で造るので、輸入禁止品になつてゐます。然し仲々地方などでは得難いし、質も悪いので印度國境に近いあたりでは其の密輸入が行はれるのではないかと思ひます。カールでは外國製のマツチは見當らない様です。

尙此處で分けて貰つた砂糖も矢張り國産のものでジャジャラバッドと云ふ處で出来るものなさうです。甘藷からと

つたものなさうで黄色い固りで黒砂糖の味がします。普段カールで私の食べてゐるものは露西亞製の砂糖大根からとつたものか英國製の甘藷からとつたものです。

私が使つてゐる鹽は英國製のものですが、此の國の人が使つてゐるのは岩鹽を粉にしたものです。粉にしたものは玄米粉の様な色をして、何かざらざらしたものが入つてゐて慣れないと食べ難いのです。岩鹽の固りは丁度石灰石の様な感じがします。大きな固りが山の様に市場に積んであつて石屋だらうかと思つたことです。此の國でも鹽水の泉があつて夫れからも、取つた鹽もあるさうですが未だ見た事もありません。又其の鹽水の湖水にも魚が居るとか聞きました。

カールから持つて來たもので鹽だけは未だ充分残つてゐます。砂糖代りにお茶に鹽を入れても吞みました。之れも甘いものです。此の國の人は絶対に夫れをやりません。煙草はチェリーを百五箱即ち千五十本持つて來ましたから之れは充分にありました。一日に五箱吸ふて二十一日

分ある譯です。夫れ程も吸ひませんからもつと居れます。煙草がなくなれば私はどうしてもカプーヘル歸へります。

米は殆んど毎日食べて居ります。カプールで私の食べてゐた米は燈心を二—三分に切つた様なかすかすしたもので甘味くないもので公使などは態々日本米を取り寄せてゐるのですが、ワルダークの米は殆んど日本米と同じ様で且つ、甘味しいです。之は大發見です。

私もワルダークでは良く食られます。アフガン風の油でいためた御飯も甘味しく食べます。何せ毎日劇しい運動をするのですから、私のポイーは夫れを不思議さうに見てゐます。何せ私はカプールで朝ちよつと役所へ顔を出す切りで一日中机に向つた切りですから食欲は殆んどないのです。油でいためた御飯など全く食べられません。何度もポイーに云つて米を水でたかせて、お茶づけを少し食べる位なんですからワルダークでの盛んな食欲にポイーは驚いてゐるのです。

私のポイーは私の處へ来る迄六年間獨逸人の處に居たと

かで、又次官が不正なことは少しもしないと保證をつけて呉れた男です。仲々良くやつて呉れます。私が何も云はなくても獨逸人の處で覺えた通りをきちんとやります。また命令する時も私は何時も手眞似と日本語で云ふのですが、其の通りやります。私の夜の布團などちやんと立派なものを買つて來ました。敷布團は出來合は良くないと自分で切地を買つて袋に縫はせて綿を入れて持つて來たものです。一方の口が開いてゐるのでどうするかと思つてゐたら自分で縫ふと云ふのです。日本の針を出してやつたら細過ぎたんですね自分の疊を縫ふ様な針を持つて來て縫つて呉れました。

私が公使館で御酒を御馳走になつて酔ふて歸へると次の日は少しのウイスキーはいゝが澤山のウイスキーは良くないと意見までします。食事も一日四アフガニ（約日本貨の一圓二十錢）に決めてありますが、夫れで何かと自分で考へて獨逸人の處で習つたのでせう洋食まがゐの毎日異なつた献立をして來ます。さうして甘味がつて食べるか食べ



ないかを良く見てゐて一度食べないともう夫れを造りません何せカブールでは食欲がなくて殊に油つこいものは食べられないので、段々アジザマ（之れがボーイの名です）は造るものが無くなつて來るのです。尾崎さん處で日本料理の御馳走になつた時のすき焼を私が食べたのを見てすき焼まがゐるものをつくつて鍋ごと持つて來たものです。お醬油をつかわないすき焼も食べられません。とうとうお茶漬けを少しばかり食べて置くと云ふことになる譯です。お茶漬けの時の漬物は、カブールにも日本のに良く似た玉菜、胡瓜、茄子等の漬けたのがあります。

ワルダークの河には魚が居ります。日本で何といふ魚か知らないのですが、口髯のある鱗の細い、ふなの様な魚です。大きは一尺位です。之れを柳の枝に麻ひもをつけて大きな釣針をつけて釣るので之れを鹽焼にして貰つて食べられてゐますが、又とても甘味しいです。

アフガンの人は餘り魚を食べません。又如何なる種類の魚でも總てムイと云ふ一言で云つてゐる様です。河には隨

分居る様です。流れ川の魚は食べますが池の魚は食べられないことになつてゐるさうです。釣る技術も下手な様です又滅多に食べないし食べても肉の買へない貧乏人がやる位の様です。露西亞との國境の大きな河には大きな魚も居るが甘味くないさうです。ワルダークの魚は甘味しいのだとも云つてゐました。

或る日人夫の一人が時計の壞れたのを持つて來て直らない？だらうかと云ひましたが、此の時には言葉の判らない様な顔をして辭りました。私も時計の修繕位覚えて置けば良かったと思ひました。土地の人は外人だと何でも出來るかと思つて居る様です。私はこんなことは特に無器用なんです。之れでも子供の頃は器用に色々なことを造つたのですが、一度自分が餘り器用だと大きな技術者になれないぜと聞いてから全く何も出來ない様になりました。然し矢張り器用なことはいゝと思ひます。自動車の修繕なども出來れば此の國では非常に便利です。

此の旅行に私は蓄音器を持つて來ました。音楽は此の國

の人は好きです。蓄音器を聞いたがつて良く村人が尋ねて  
何ます。一度は三哩も遠方の人が薪を澤山かついで來て呉  
れて蓄音器を聞きに來ました。ペルシャ語だのブント語の  
をもつと持つて來れば良かつたとも思ひました。

此の村人は非常に親切に色々世話をやいて呉れます。

處で發電所設置には田が潰されるとかの理由で此の村人は  
反對だと云ふことを聞きました。近く總理大臣の處へ反對

## 宇治橋改築工事の概要

### 京都府土木部

陳情に行くとも聞きました。これを聞いた時に其の調査に  
此處に來てゐることは少し危険だとも考へました。之れ  
で護衛兵をつけて呉れた意味も判る様な氣もします。全く  
説明の出來ない外國人が、其の工事に反對である村に入つ  
て其の調査をすると云ふことは用心しなければならぬとい  
思ひました。村人を怒らせない様に態度だつて充分注意し  
て居なければならぬと思つたことです。

宇治橋は京都府久世郡宇治町宇治郷に在り古來瀬田唐  
橋、淀大橋と共に天下の三名橋として其の名人口に膾炙せ  
るのみならず架せられたる宇治川（澗川）は夙に宇治川の  
先陣によりて普く人の知る所である。

宇治橋架設の起源は大化二年（皇紀一三〇六年）勅命を

奉して僧道登の創設にかゝり其の後觀景、道慶等相次いで  
之れを修築し爾來弘安の頃迄其の經營は悉く僧家に依りて  
爲され別に管理者は設けられなかつたのである。弘安九年  
（皇紀一九四六年）思圓上人の造立して以來橋寺放生院の  
管理する所となり放生院は應仁の兵亂によりて其の寺録を